

衝撃吸収性



衝撃吸収性

転倒時の衝撃を吸収し、重大なケガを防ぐ床材

学校や幼稚園、老人ホーム、病院などの施設では、滑ったりつまづくなどの原因で人が転倒し、思わぬ事故につながる場合があります。衝撃や衝突によるエネルギーを分散・吸収する機能を床に持たせることで、転倒時のケガを軽減したり、歩きやすさも付加することができます。また誤って物を落とした場合も、破損を最小限にとどめます。

衝撃吸収性の評価

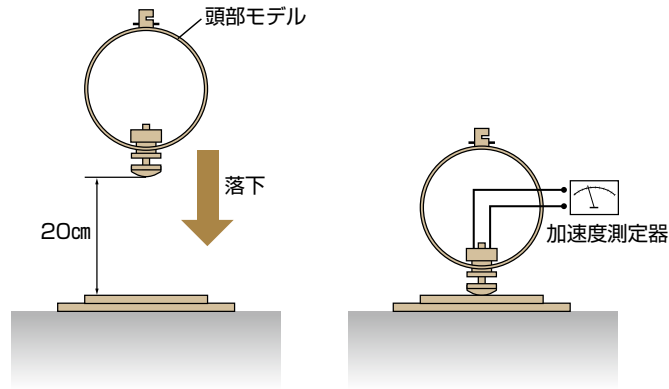
試験方法

JIS A 6519「体育館用鋼製下地構成材」 床の硬さ試験に準拠

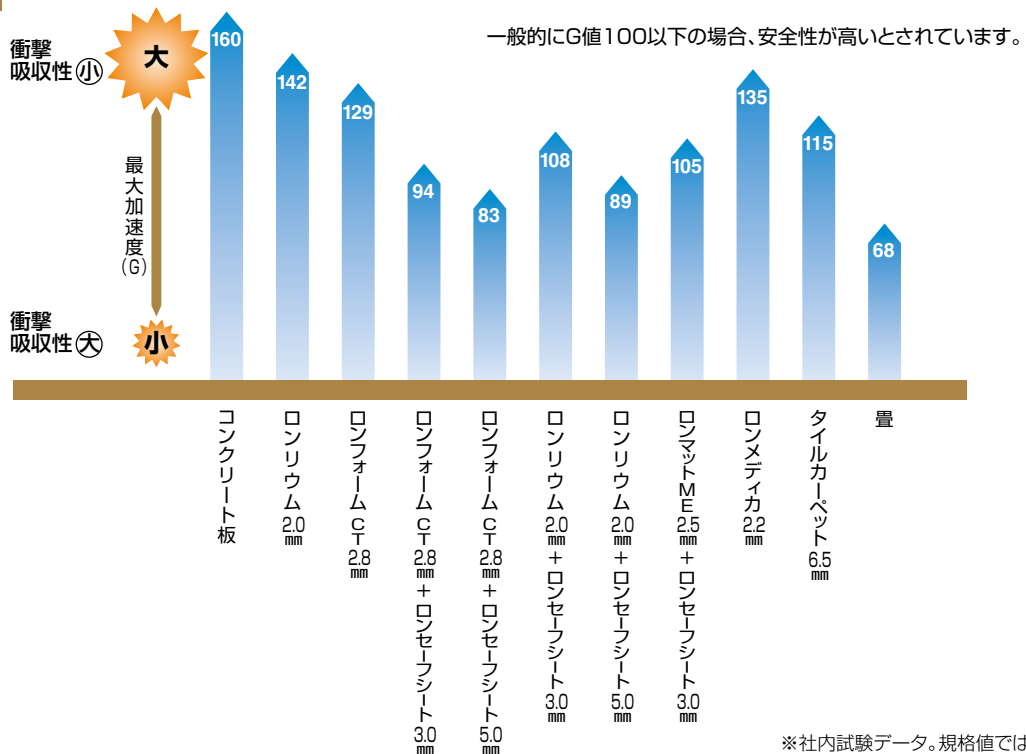
高さ20cmから頭部モデルを落下させ、床に衝突した時の最大加速度を測定。

硬い床は、衝撃を吸収しないため、衝撃がそのままはね返り、最大加速度は大きくなります。

最大加速度の値が小さいほど、床が衝撃を吸収し、障害事故は低下します。



試験結果



※社内試験データ。規格値ではありません。